

先の KojiMemo(32)に対して多くの意見をいただきました。

体系的にまとめたものでないため、意図が十分伝わらなかったところがあり、補足すると、その後の情勢が、“中途半端な妥協に基づく話し合い解決という” さらに恐ろしい方向に向かい始めたので、再度警告します。

KojiMemo(32)への反論の中には、「いかなる理由があろうと、戦争は反対だ」というものが、いくつかありました。小生はそれを主題として取り上げたつもりはございません。あくまで、「核のない世界を実現し、人類滅亡の危機を回避する」のが最大の課題であると考えます。そのため、「敵は北ではなくて、むしろアメリカである」とさえ言及しています。

「核を持つことで、世界への存在感が増し、交渉を有利に運ぶ」という北の態度が許せないのです。北だけではなくて、そうした風潮が世界に蔓延していることを是正したいのです。

今回脅しに屈して“北の思惑通り” ミサイルと核開発を**中断**することで、話し合いがおこなわれ、たしかに当面の戦争は回避できますが、根本解決からさらに遠のき、難しくなります。ましてやその話し合いの中で、日本もなにがしかの援助が押し付けられる、ことになると、踏んだり蹴ったりです。

そこで提案：

「6 国国の話し合いを広島で開催する」を 6 国かつ世界に提案する。

何をバカなことを、そんなことできるわけない、というのが日本の皆さんから返ってくるでしょうし、ましてや世界からも同じ反応が起こるでしょう。

実現できなくても、その意図を世界に強くアピールすることが、目的です。

「日本は米国の傘の下に居るので、そんなことを言う資格がない」という言葉も返ってきますが、詭弁ですがその「傘の下」を無意味にするのです。日本は核廃絶を声高に叫ぶ権利があります。いや権利ではなくて、人類に対する義務でもあります。

もちろん、現在の核保有国が趣旨に賛同したとしても、自ら率先して核廃棄することは絶対にありません。世界の世論形成が先です。それまでの間、日本は米国の傘の下に居ることになります。

大量殺害兵器として、生物兵器と化学兵器は、そのあまりの非人道さで、世界は許さない、というコンセンサスが作られました。これらの兵器は、ヨーロッパなどで実際に何度も使われてきたので、世界がその恐怖を実感しているので、世論形成に至りました。核は実際に被害を経験したのは日本だけです。昨年オバマ氏が広島を訪問してくれたおかげで、最近世界からの訪問者が増えてきました。核はそれらふたつの兵器より、何十倍も非人道的です。

以上

(補足) 日本人の軍事嫌い

実は小生も70才位まで、その一人でした。

終戦を3才の時に向かえ、実体験を全く知りません。幸いに先人たちが、文学、映画、その他の媒体を通じて、その悲惨さを後世に伝える努力を続けてくれていました。今も続いています。多感な年ごろをその中で育ち、「戦争だけは、絶対に避けねばならない」と骨の髄まで染み渡りました。その延長上で、軍事問題に接することに多くの人と同じように嫌悪感を抱くようになったのです。

退職後、米国の友人が扱っていた3次元計測の世界のニュースの紹介をボケ防止にと始めました。5年ほど前から3次元計測の手法のひとつでもあるドローンの話題も加えました。イギリスの知人が発行するドローンの話題に、軍事関係が半分ぐらい含まれています。嫌いな人も数多くおられるのを承知で、しぶしぶ紹介するようにしました。そのうち、軍事関係が、技術もマーケットも大きく影響していることを知り、目を背けてはならない、と気が付きました。ドローンに搭載する新しい高性能武器の話題を扱う時、これが実戦で使われた時の悲劇(その人のまわりには愛する家族がいる・・・)に思いをめぐらし、筆先が鈍りました。しかし、事実を伝えるのが自分の役目、どう判断するかは読者に委ねる、と考え、続けています。

今の日本人は、この軍事問題に3種類に分かれるようです。

A: 70才までの小生と同じ、「何がなんでも戦争反対、口にしたくない、みたくもない」

B: 歴史が教えるように戦争は無くならない、いかにその発生を抑えるか、また起きてしまったときの被害を軽減するか、に注力すべき。軍事問題からも目をそらさない。

C: 他人の痛みには思いやる余裕はない、意図に反する輩は排除する。

Aが70%、Bが20%、Cが10%の印象です。

AとCは、単純明快でいいですね。迷うことなどありません。ところがBは常に迷い続けます。大変な苦悩、葛藤が伴います。この年になって、AゾーンからBに入ってしまった小生、苦い思いをさせられています。決して人には勧めません。気楽でいれるに越したことはないです。

もう一点・・・

前回、改元問題は8年前に取り上げたとして「日本と地球を救う」

http://www.sparj.com/kojimemo/KojiMemo20_SaveJapan&Earth.pdf

を追記しましたが、これに多数の方がアクセスされてしまいました。あまりにも独善的、幼稚な意見として小生の信頼している親友K氏が8年前に批判してくれていました。

http://www.sparj.com/kojimemo/KojiMemo20A_Criticise.pdf